



はやね はやおき 朝ごはん テレビを止めて外遊び

三角帆

＜合言葉＞つなごう～みんなの手と手、心と心～

平成25年度
別海町立野付小学校
学校だより No.1
平成25年4月8日
発行責任者
校長 音川 忠志

「おはよう」あふれる4月 ～進級の喜びを意欲に、心に響く挨拶を～

ようやく春らしい暖かさを感じるようになった本日、13名の新1年生を迎え、99名の全校児童、14名の教職員で新年度がスタートしました。小学校入学は、人生の大きな節目であります。そして、進級する各学年の子どもたち一人一人にとっても、希望を胸に迎えたこの4月は、大切な節目であります。入学・進学喜びが意欲につながるよう教職員一同心を新たにし指導に当たりたいと思います。

始業式では、一人ひとりが目標を持って生活してほしいこととお話し、「心のスイッチ」という詩を紹介しました。目標作りは、低学年なら、自分は何を頑張りたいかを考えることが大切で、中学年は、自分の良さを伸ばすような目標を立て、高学年は、苦手なことを克服する意識で目標作りに取り組んでほしいです。目標は、より具体的で、反省し新たな課題が生まれるようなものを作れるよう、お家の方からのアドバイスもいただきたいです。

入学式では、1年生に3つの大切な「元気」「根気」「やる気」の中から「元気」についてお話ししました。元気の源は何と言っても健康です。そして、まわりから優しくされる事で元気が生まれてきます。朝の挨拶は、みんなから声をかけてもらい人の優しさを感じることができますし、さらに、自分から挨拶することで、自分自身を元気にさせることができます。

学校中に「おはよう」があふれ、優しさいっぱい、みんなが「今日も頑張ろう」という気持ちになる、1年のスタートの月にしたいです。6年生が1年生に優しく「おはよう」の声をかけてくれると、他の学年も声をかけてくれますし、学級では友達同士が挨拶を交わすことで、新しい学年を気持ちよくスタートできます。

保護者・地域のみなさんも、通学路で児童を見かけましたら「おはよう！」と声をかけてあげてください。

最後になりますが、今年度も、ご家庭・地域のみな様の支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 音川 忠志

追伸：5日（金）、新6年生が入学式の準備のため登校してきました。一人一人が一生懸命に入学式の準備をお手伝いしている姿は「全校のリーダー：6年生」になっていた様に感じ、うれしく思いました。今年の6年生の活躍が楽しみです。

「心のスイッチ」

作：東井義雄

人間の目は ぶしぎな目
見ようという心がなかったら
見ている 見えない
人間の耳は ぶしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても 聞こえない
おなじように先生の話聞いていても
ちょっと聞こえない人がいる
ほんとうにそうだと 腹の底まで聞く人もある

おなじように学校に来ても
ちっともえらくなならない人もある
毎日ぐんぐんえらくなる人もある
今までみんなからつまらない子だと思われていた子でも
心のスイッチが入ると
急にすばらしくなる
心のスイッチが
人間をつまらなくもし すばらしくもしていくんだ
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし 暗くもするように